

「みえ平和行進ニュース」No. 1

08年原水爆禁止世界大会三重県実行委員会

〒514-0016 津市乙部14-18

TEL/FAX 059-228-5854

国民平和行進

「和歌山→三重→奈良→広島コース」が9日三重県入り

6月9日、国民平和行進「和歌山・三重・奈良・広島コース」が三重県に入りました。

三重県最南端の紀宝町役場前で引き継ぎ式がおこなわれ、和歌山県実行委員会を代表して和歌山県教職員組合東牟婁地方支部の増田弘書記長から三重県の代表へ、同行進の横断幕や各団体のリレー旗などが手渡されました。

8時15分にはじまった引き継ぎ式には、紀宝町の西田健町長、大石洋町議会議長をはじめ町職員ら12名が立ち会い、三重県側の行進参加者、紀南原水協責任者の大西譲さん、08年原水爆禁止世界大会三重県実行委員会事務局の佐藤岑夫・県原水協事務局長、三重県内通し行進者の鈴木祥夫さん、荒木健次さんなどが参加しました。

佐藤岑夫・県原水協事務局長は、主催者を代表して50周年を迎えた平和行進の意義を訴えました。とくに、2010年の核不拡散条約（NPT）再検討会議で、核兵器廃絶の具体的な行動を開始することを国連と各国代表部に求め、核兵器廃絶のプログラムを具体化することが重要だと訴えました。

通し行進者の鈴木祥夫さん、荒木健次さんは、それぞれ今年の平和行進にのぞむ決意を表明しました。それを受けて、西田健町長と大石洋町議会議長から激励の挨拶がありました。

行進団は、8時30分に出発して、途中増減しましたが約30名が御浜町（第5福竜丸のエンジンが引き上げられたところ）、熊野市を経て尾鷲市まで行進しましたが、通過した市町では、どこでも歓迎され、首長、議長からのメッセージ、ペナント、協賛金などあたたかい支援をいただきました。夕刻、尾鷲児童公園に到着し第一日の行進を終えました。

また、行進団は途中、御浜町阿田和、熊野市有馬、遊木などで沿道カンパをおこないました。

三重県内平和行進は、3コースでおこなわれ、北勢→津コース（12日発）と白山・久居コース（14日発）が14日津市で合流し、お城西公園で県生協連・三重県原爆被災者の会・2008年原水爆禁止世界大会実行委員会の共催で集会をおこない、津市長などの挨拶をうけたあと、三重県庁まで行進し、三重県水産会館で県知事への要請文を手渡すことになっています。

その後、亀山市、伊賀市、名張市を訪問しながら、17日奈良県に引き継がれるまで9日間にわたって三重県内を行進します。